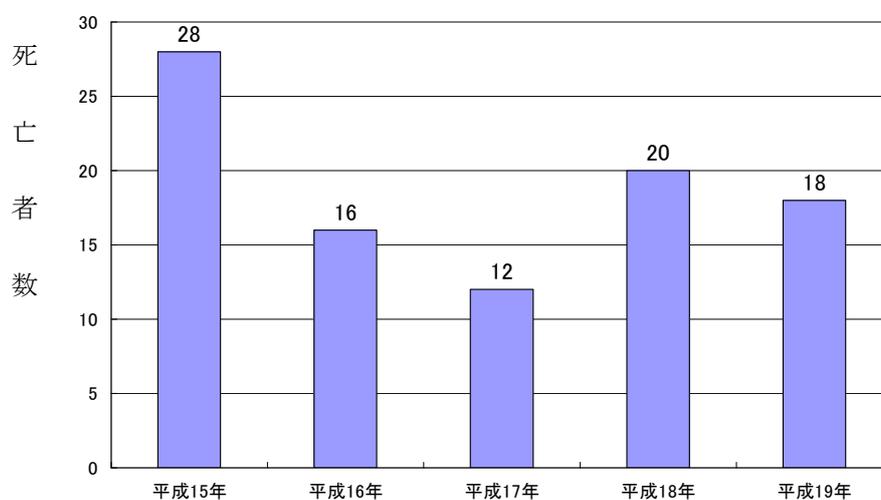


4 ビルメンテナンス業における労働災害の発生状況

労働災害による死傷者数は、第三次産業の全産業に占める割合が年々増加傾向にあります。ビルメンテナンス業においても、増加傾向がグラフからも読み取れます。

特徴としては、図1-6の事故の型で「転倒」「墜落、転落」が6割強を、図1-7の起因物で「階段、通路、足場など」が約5割を、図1-8の年齢別では「50歳以上」で7割強を占める結果となっています。

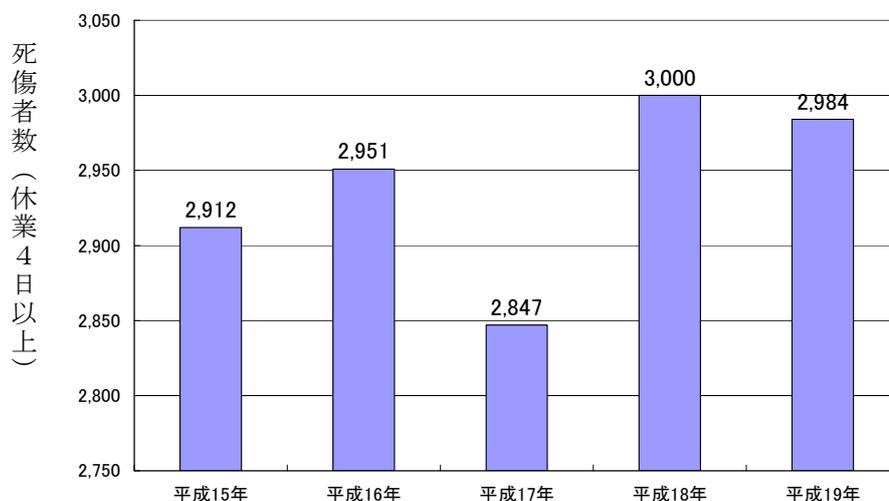
(1) 死亡者数（平成15～19年）



（「死亡災害報告」からの統計）

図1-4 死亡者数

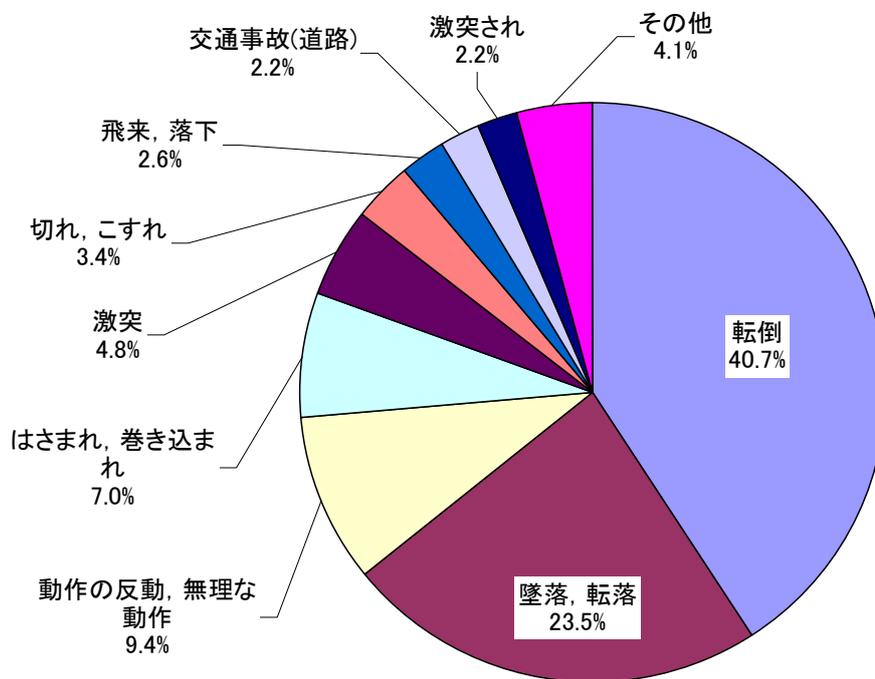
(2) 休業4日以上の死傷者数（平成15～19年）



（「労働者死傷病報告」からの統計）

図1-5 休業4日以上の死傷者数

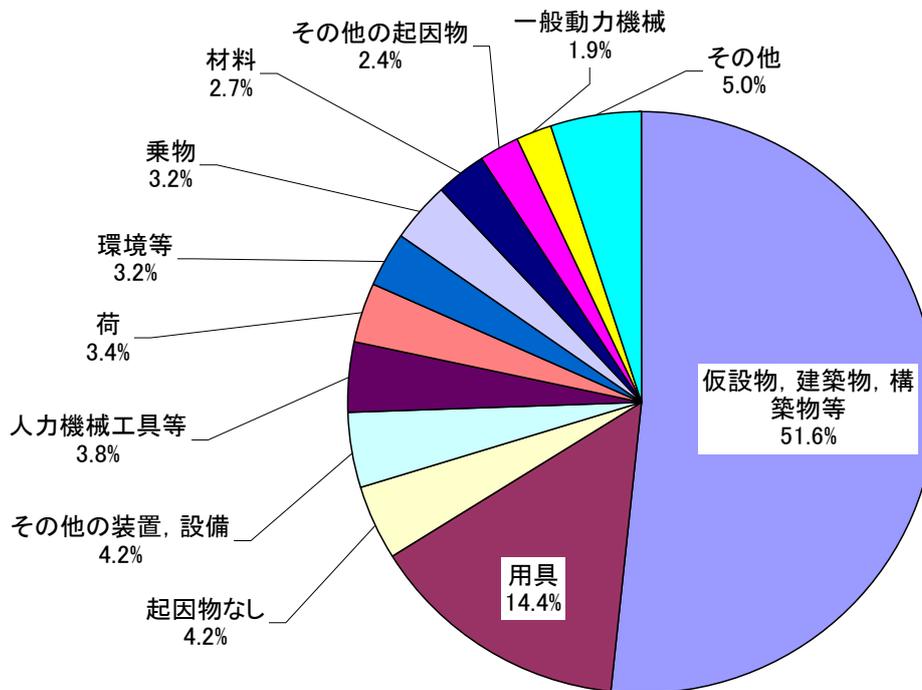
(3) 事故の型別の死傷災害発生状況 (平成15~19年の平均)



(「労働者死傷病報告」からの統計)

図1-6 事故の型別の死傷災害発生状況

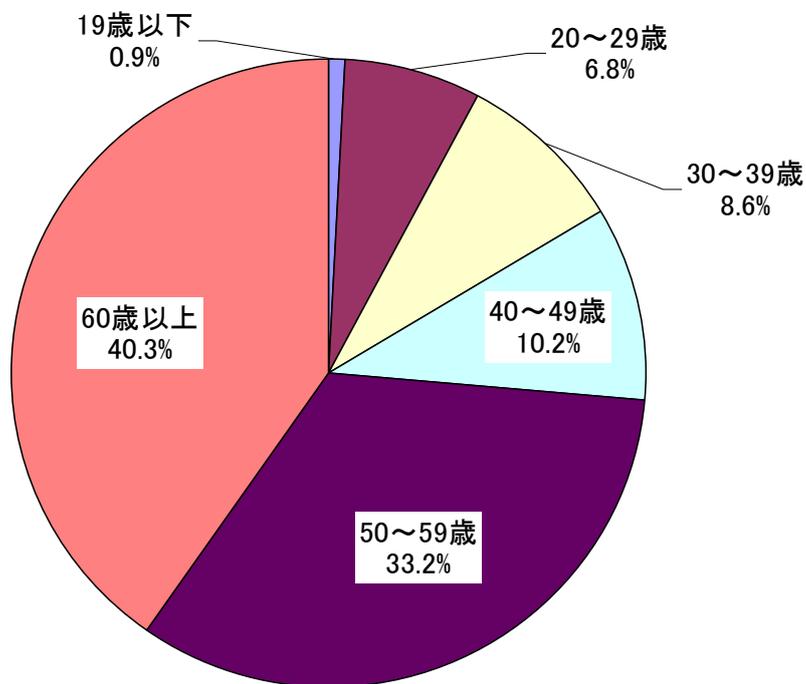
(4) 起因物別の死傷災害発生状況 (平成15~19年の平均)



(「労働者死傷病報告」からの統計)

図1-7 起因物別の死傷災害発生状況

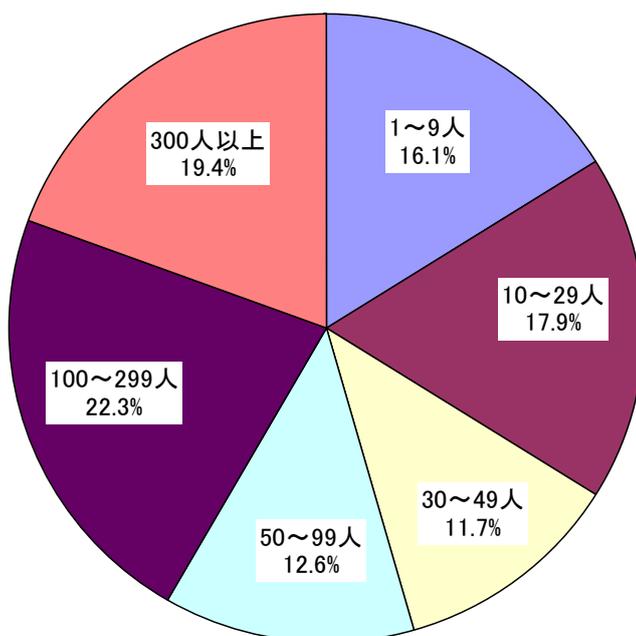
(5) 年齢別の死傷災害発生状況（平成15～19年の平均）



（「労働者死傷病報告」からの統計）

図1-8 年齢別の死傷災害発生状況

(6) 事業場規模別の死傷災害発生状況（平成15～19年の平均）



（「労働者死傷病報告」からの統計）

図1-9 事業場規模別の死傷災害発生状況

(7) 都道府県別の死傷災害発生状況（平成15～19年）

表1-2 都道府県別の死傷災害発生状況

(単位：人)

年 都道府県	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	計
北海道	185	229	216	184	220	1,034
青森	37	30	34	19	32	152
岩手	21	32	25	30	21	129
宮城	70	55	59	73	53	310
秋田	16	11	20	17	28	92
山形	16	11	16	19	12	74
福島	33	24	32	34	41	164
茨城	20	27	22	41	36	146
栃木	39	31	56	43	42	211
群馬	32	28	30	34	41	165
埼玉	82	97	88	101	107	475
千葉	135	105	81	111	98	530
東京	509	566	508	517	538	2,638
神奈川	222	218	208	229	216	1,093
新潟	34	45	30	43	38	190
富山	34	23	36	33	18	144
石川	21	24	24	32	22	123
福井	11	13	16	15	9	64
山梨	24	12	10	12	13	71
長野	27	28	32	25	28	140
岐阜	15	21	19	24	30	109
静岡	66	74	58	96	91	385
愛知	142	161	136	130	129	698
三重	23	16	18	21	31	109
滋賀	21	18	18	25	24	106
京都	65	57	68	53	68	311
大阪	299	283	310	301	289	1,482
兵庫	115	93	87	99	93	487
奈良	18	24	20	18	13	93
和歌山	10	13	11	17	17	68
鳥取	7	10	12	10	12	51
島根	8	8	17	10	7	50
岡山	36	31	32	32	15	146
広島	59	72	64	55	79	329
山口	20	34	28	28	22	132
徳島	11	11	9	19	6	56
香川	24	22	19	17	21	103
愛媛	24	17	24	24	19	108
高知	13	25	10	10	27	85
福岡	153	156	133	169	163	774
佐賀	14	18	18	22	19	91
長崎	25	22	38	30	24	139
熊本	35	37	29	45	36	182
大分	35	30	41	36	41	183
宮崎	29	24	24	29	22	128
鹿児島	35	22	24	28	28	137
沖縄	42	43	37	40	45	207

〔労働者死傷病報告〕からの統計)